



「やるからには真剣に目指そう」

学科での学びの先にあった税理士。

丹羽会計事務所

資産税部 部長

税理士

駒谷 知人 さん

Komaya Tomohito

経営学部 経営学科 2001年3月 卒業

実家が建築会社を営んでいたため、経営というものを身近に感じていました。社会に出てからも経営の知識は役に立つだろうと思い、経営学科に進学しました。

業界については全く知識がありませんでしたが、3年次の就職活動の時期に学内の書店で見つけた専門学校漫画パンフレットにあった事業承継に携わる税理士の話を読んだのがきっかけでした。社会に出るのなら、大学で学んだ専門知識を活かした業界に進みたいと思い、簿記を学んだ先にある税理士という職業を目指すようになりました。

本気で税理士を目指すことを
大学4年次に決断

大学生活では、軽音楽サークルのサウンドアスレチックに所属していました。毎日学校に行き、真面目にノートもちゃんととっていたので、試験前になると友だちに頼られるタイプでした。授業以外の時間は、今の学生と同じように、よく渋谷に遊びに行っていました。

税理士の試験は毎年8月に行われ、全11科目の中から5科目に合格すると資格が得られます。試験勉強は3年次の9月から始めました。始めは軽い気持ちで、通信教育で勉強していましたが、4年次の夏に受けた試験では箸にも棒にも掛からず、「中途半端な気持ちでは太刀

打ちできない。やるからには真剣に目指そう」と決断し、4年次の9月からは専門学校に通いました。

今思えば、1年次から学ぶ「簿記」や3年次に履修した「税務会計」など税理士に直結する科目がいくつもありました。

私は税理士試験について就職活動中に気づいたので、当時は単位を取ることばかり考え、税理士に役立つ科目だと意識しないまま履修を組んでいました。ちゃんと意識を持って授業を受けていれば、もっと理解が進んでいたのではないかと思います。

税理士に限らず、経営学科は、仕事に直結できる学科です。学んだことは、必ず社会で役立つと思うので、目的意識を持って授業に取り組んでほしいと思います。

大企業の仕事を経験した後
一人ひとりの人生に携わりたいと転職

4年次になり、周りの就職が決まる中焦っても仕方ないと思い、4年の終わりにまずは会計事務所でアルバイトをしてみて、自分に税理士という職業が合っているかどうかを確かめようと思い、採用していただいたのが現在所属している丹羽会計事務所でした。平日は専門学校に通いながら、週3日はアルバイトをし、在学中から5年間でトータル4科目に合格しました。

OB.OG INTERVIEW



事業継承の他に、若い方の起業のサポートも増えているという。

その後、大企業の税務にも関わりたいと思い、国内最大手の税理士事務所に正社員として入所し、勤務しながら最後の1科目に合格、税理士資格を手に入れました。その事務所では約9年間、上場会社の決算などを行っていましたが、後半は事業承継という、会社を後継者に引き継ぐ仕事を中心に行いました。

社会的にも影響力のある大企業の仕事は面白かったですが、「一人ひとりのお客様に寄り添い、相続や事業承継など、人生に携わる仕事がしたい」と望むようになつていった時、丹羽会計事務所の10周年のパーティーにOBとして呼んでいただき、再び丹羽会計事務所と接点を持ちました。その際、「相続などを

担当する税理士を探している」ということで転職し、現在に至っています。

これからの税理士に求められる仕事

「A-1の発展で税理士の仕事が変わる」と一部で言われていますが、現実にはそうではありません。A-1が基本的な処理を行うことで、経理業務の効率化が図られ、税理士はその先のチェックやアドバイスをを行うという仕組みが整いつつあります。会計帳簿の記帳作業が軽減されたことで、その先の決算書作成や、事業承継の提案に時間を割けるようになりました。これにより、税理士はより専門的で高度な業務に集中でき、業務の正確性と効率性が向上しています。

現在、個人の確定申告や会社の決算のみならず、資産が増えてきたことで相続税の試算を行う方が多くなっています。その流れで遺言書を作成し、最終的にはその遺言書をもとに相続の手続きを行う業務が増加してきました。こういったお客様の人生に関わる仕事をするとは、最初にこの業界に入った時には思っていませんでした。

今後も、今以上にお客様との信頼を築き、人の人生に寄り添い続ける仕事を広げていきたいと考えています。



フリーアドレスの事務所で、リフレッシュしながら業務を行う。

資格取得の勉強は、早く始めるほど「若さのアドバンテージ」がある

資格取得の勉強は、早く始めるほど若さのアドバンテージがあります。税理士などの仕事を将来目指そうと考えている人は学生時代から受験勉強を始めることをおすすめします。

税理士を目指すのであれば、経営学科や法律学科への進学が非常に有益です。税理士は会計だけでなく、税法という法律を遵守する必要があるため、法律の知識も必要不可欠であり、法律学科での学びも税理士としての職業に非常に役立ちます。経営学科や法律学科に進学した際には、税理士という職業について、確定申告や会社の決算だけでなく、事業承継や相続の申告といった会社の経営やお客様の人生に携わる側面もあるということを知っていただき、

職業を選ぶ際に、ぜひ税理士という仕事に少しでも興味を持ってもらえればと思います。

学生の皆さんには、もちろん勉強は大事ですが、大学では友だちをつくって様々な経験や楽しさを分かち合ってほしいです。

私もギターは税理士試験を始めてから全然演奏しなくなっていました。が、今でも家に飾っています。全く触らなくなりましたが、継続していればきっと今でも色々弾けたんだろうなあと寂しく思うこともあります。最近では小学生の息子が、たまにテレビを観て、「僕も弾きたい!」と言ってギターを持ってきたりします。もう少し大きくなったら、一緒に弾いてみたいです。その時は、私も基本からやり直さないといけないですね。



撮影協力／丹羽会計事務所